

研究課題：小児集中治療病棟における COVID-19 流行前後の耐性菌検出率と手指衛生実施率の検討

1. 研究の目的

小児集中治療室(PICU)、準集中治療室(HCU)において、COVID-19 流行前後での耐性菌検出率の変化と手指衛生実施率の変化を明らかにすることです。耐性菌検出率、手指衛生実施率、抗菌薬使用量について検討します。耐性菌とは抗菌薬の効き目が悪くなった細菌、手指衛生実施率とは、医療者の適切に手洗いやアルコール消毒ができていない割合のことです。

2. 研究の方法

2017年7月1日から2022年3月31日の期間に、PICU、HCUに入院した患者様を対象に行う、後方視的観察研究です。

3. 研究期間

倫理委員会承認後～2023年3月まで行います。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

手指衛生実施率の記録、耐性菌検出歴の記録、電子診療録を用います。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究の成果は主たる学会や雑誌で報告します。結果を公表する際には、患者様を特定できる情報を含まないようにいたします。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

実施責任者：感染免疫科 医員 武井 悠

実施分担者：感染免疫科 科長 菅沼 栄介

感染免疫科 医長 古市 美穂子

感染免疫科 医員 出口 薫太郎

救急診療科 科長 植田 育也

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年3月

31 日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じる
ことはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）